

採択拠点の拠点形成概要及び採択理由

【分野名：医学系】

大 学 名	北海道大学	整理番号	F - 3
拠点のプログラム名称	人獣共通感染症制圧のための研究開発		
中核となる専攻等名	獣医学研究科獣医学専攻		
事業推進担当者	(リダー)高島 郁夫 外13名		
<p>(拠点形成の概要)</p> <p>世界各地で人獣共通感染症が発生し、人類を脅かしている。人獣共通感染症制圧に向け、世界最高水準の研究を推進するとともに、人獣共通感染症制圧対策専門家を養成するために拠点を形成する。その将来像は「人獣共通感染症国際研究教育センター」(International Collaboration Centers for Zoonosis Control)である。研究実施計画：SARS、ウエストナイル熱、プリオン病(BSEを含む)、インフルエンザ、エキノコックス症、ダニ媒介性脳炎、狂犬病およびハンタウイルス感染症について、診断法の開発、地球規模の疫学調査、リスクアナリシス、病原性の分子基盤の解明、病原体の生態と遺伝子解析およびワクチンと治療薬の研究開発を行う。教育実施計画：人獣共通感染症が多発する国から獣医師と研究者を受け入れ、日本人大学院生とともに、英語による授業、海外研修と共同研究を実施する。大学院に社会人ブラッシュアップ教育および人獣共通感染症制圧特設コースを設け、人獣共通感染症制圧専門家(Zoonosis Control Doctor)を養成する。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>SARS事件を例に挙げるまでもなく、人獣共通感染症はこれまでも、また将来においても人類が悩まされ続け、かつ、解決を迫られている重要な課題である。特に、国際交流がかつてない規模で活性化された今日、国内にとどまらず国際的視野での対応が必要となってきた。本拠点形成プログラムはこれまでの活発な研究・教育における実績を基盤として計画されたものであり、留学生、大学院生など若手研究者も数多く、本邦における拠点として充分機能することが期待できる。</p>			